

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-71019

(43)公開日 平成6年(1994)3月15日

(51)Int.Cl.⁵

A 6 3 F 7/02

識別記号

3 2 0

3 0 3 A

3 3 2 B

庁内整理番号

7017-2C

8804-2C

8804-2C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数3(全 6 頁)

(21)出願番号

特願平4-253905

(22)出願日

平成4年(1992)8月27日

(71)出願人 591142909

マルホン工業株式会社

愛知県春日井市桃山町1丁目127番地

(72)発明者 岸 勇夫

愛知県春日井市桃山町1丁目127番地 マ

ルホン工業株式会社内

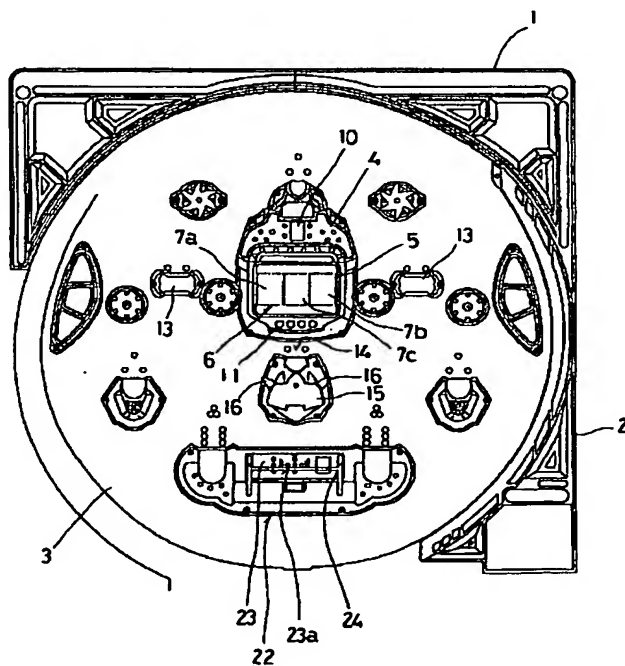
(74)代理人 弁理士 松浦 喜多男

(54)【発明の名称】 パチンコ機

(57)【要約】

【目的】 図柄組合せ表示装置を備えたパチンコ機にあって、その図柄表示器の表示が所定の組み合わせとなる直前の、いわゆる「リーチ」となった場合に、その期待感を高め、意外性を生じる変化に富んだ表示態様を生じさせること。

【構成】 図柄組合せ表示装置6の図柄表示器7a、7b、7cのうち、いわゆるリーチ状態のときに、最後に図柄停止する図柄表示器7cの図柄として、基本循環図柄とは別に、当たり組み合わせとなる図柄を付加して出沒させるようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 予め定められた種々の図柄を変動表示する複数の図柄表示器によって構成され、球検知装置を備えた始動口を遊技球が通過すると、球検知装置からの球検知信号に基づいて各図柄表示器の表示図柄が変動を開始し、停止して種々の組合わせの図柄を表示する図柄組合わせ表示装置と、前記図柄組合わせ表示装置の各停止図柄が所定の組合わせである場合に開放作動する特別入賞口とを備えたものにおいて、図柄組合わせ表示装置の図柄表示器のうちいずれかを最後に図柄停止させ、この最後に図柄停止する図柄表示器以外の図柄表示器が所定の組合わせ図柄となったときに、最後に図柄停止する図柄表示器の図柄変動速度を低速変動させると共に、最後に図柄停止する図柄表示器に複数の所定図柄を循環表示し、あらかじめ定められた特定循環周に、当たり組み合わせとなる図柄を増加させるようにした制御内容を備える制御指令手段を具備したことを特徴とするパチンコ機。

【請求項 2】 予め定められた種々の図柄を変動表示する複数の図柄表示器によって構成され、球検知装置を備えた始動口を遊技球が通過すると、球検知装置からの球検知信号に基づいて各図柄表示器の表示図柄が変動を開始し、停止して種々の組合わせの図柄を表示する図柄組合わせ表示装置と、前記図柄組合わせ表示装置の各停止図柄が所定の組合わせである場合に開放作動する特別入賞口とを備えたものにおいて、図柄組合わせ表示装置の図柄表示器のうちいずれかを最後に図柄停止させ、この最後に図柄停止する図柄表示器以外の図柄表示器が所定の組合わせ図柄となったときに、最後に図柄停止する図柄表示器の図柄変動速度を低速変動させると共に、最後に図柄停止する図柄表示器に複数の所定図柄を循環表示し、乱数発生装置に基づいて不規則に選択された特定循環周に、当たり組み合わせとなる図柄を増加させるようにした制御内容を備える制御指令手段を具備したことを特徴とするパチンコ機。

【請求項 3】 予め定められた種々の図柄を変動表示する複数の図柄表示器によって構成され、球検知装置を備えた始動口を遊技球が通過すると、球検知装置からの球検知信号に基づいて各図柄表示器の表示図柄が変動を開始し、停止して種々の組合わせの図柄を表示する図柄組合わせ表示装置と、前記図柄組合わせ表示装置の各停止図柄が所定の組合わせである場合に開放作動する特別入賞口とを備えたものにおいて、図柄組合わせ表示装置の図柄表示器のうちいずれかを最後に図柄停止させ、この最後に図柄停止する図柄表示器以外の図柄表示器が所定の組合わせ図柄となったときに、最後に図柄停止する図柄表示器の図柄変動速度を低速変動させると共に、

最後に図柄停止する図柄表示器に複数の所定図柄を循環表示し、先行して停止した図柄表示器の図柄内容に対応する所定条件に基づき、当たり組み合わせとなる図柄を増加させるようにした制御内容を備える制御指令手段を具備したことを特徴とするパチンコ機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、所定の組合わせにより大入賞口を開放させる図柄組合わせ表示装置を備えたパチンコ機に関する。

【0002】

【従来の技術】 予め定められた種々の図柄を変動表示する複数の図柄表示器によって構成され、球検知装置を備えた始動ゲートを遊技球が通過すると、球検知装置からの球検知信号に基づいて各図柄表示器が図柄変動を開始し、停止して種々の組合わせの図柄を表示する図柄組合わせ表示装置と、該図柄組合わせ表示装置の各停止図柄が所定の組合わせである場合に開放作動する特別入賞口とを備えたものは、「フィーバー式遊技機」と称され、種々提案されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで上述の図柄組合わせ表示装置にあっては、図柄組合わせ表示装置の図柄表示器のうちいずれかを最後に図柄停止させ、この最後に図柄停止する図柄表示器以外の図柄表示器が所定の組合わせ図柄となったとき、すなわちその図柄表示器の表示が所定の組合わせとなる直前となった場合（以下、リーチ状態という）に、最後の図柄表示器の図柄変動速度を低速として、その期待感を高めるようにした構成が提案されている。本発明は、さらにリーチ状態での期待感を高めると共に、意外性のある構成を提供してパチンコ遊技の興趣を増大することを目的とするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の第一手段は、リーチ状態で、最後に図柄停止する図柄表示器の図柄変動速度を低速変動させると共に、最後に図柄停止する図柄表示器に複数の所定図柄を循環表示し、あらかじめ定められた特定循環周に、当たり組み合わせとなる図柄を増加させるようにした制御内容を備える制御指令手段を具備したことを特徴とするものである。

【0005】 また第二手段は、リーチ状態で、最後に図柄停止する図柄表示器の図柄変動速度を低速変動させると共に、最後に図柄停止する図柄表示器に複数の所定図柄を循環表示し、乱数発生装置に基づいて不規則に選択された特定循環周に、当たり組み合わせとなる図柄を増加させるようにした制御内容を備える制御指令手段を具備したことを特徴とするものである。

【0006】 さらに第三手段は、リーチ状態で、最後に図柄停止する図柄表示器の図柄変動速度を低速変動させると共に、最後に図柄停止する図柄表示器に複数の所定

図柄を循環表示し、先行して停止した図柄表示器の図柄内容に対応する所定条件に基づき、当たり組み合わせとなる図柄を増加させるようにした制御内容を備える制御指令手段を具備したことを特徴とするものである。

【0007】

【作用】従来にあっては、リーチ状態となると所定数の図柄が所定順序で、循環表示されるが、本発明の上記各手段にあっては、リーチ状態で、所定循環図柄とは別に、当たり組み合わせとなる図柄（以下当たり図柄という）が、急に付加されて出役することとなる。

【0008】例えば、「5，5」でリーチ状態となると、オールマイティーの当たり図柄である「当」図柄が出役したり、又は「5」が余分に表示されるといった形態を取り得る。このため、遊戯者は、新たな期待感を醸成される。

【0009】この当たり図柄の出役手段としては、第一手段にあっては、定期的に表われることとなり、第二手段にあっては不規則に表われる。また第三手段にあっては、例えば、先行して、他の図柄表示器が「7，7」を表示した場合には、他の図柄に比して増加数が多くなったり、頻繁に出役するといった形態を取り得る。

【0010】

【実施例】添付図面について本発明の一実施例を説明する。図1は、パチンコ機1の正面図であって、その機枠2の図示しない下部には玉受皿と、玉発射用の回転式ハンドル等が設けられる。遊技盤3の盤面中央には、図2で拡大して示すように装着ケース（図示せず）の前部に固定されたセンターケース4が配設され、該センターケース4内に図柄組合わせ表示装置6を構成する三個の表示器7a，7b，7cが横方向に並設され、センターケース4の中央に形成した窓孔5から透孔板を介して表示器7a，7b，7cの表面に配設されたドットマトリックスまたは7セグメント指示器からなる図柄表示部を視認し得るようにしている。

【0011】またセンターケース4の窓孔5下には四個のパイロットランプからなる待機記録ランプ列11が設けられ、さらに窓孔5上には、普通図柄表示器10が配設される。

【0012】前記図柄表示器7a，7b，7c及び普通図柄表示器10はLED又は液晶によって構成され、図柄表示器7a，7b，7cは、「1」～「9」等、数字及びアルファベットからなる7セグメント指示器で表現可能な図柄が表示され、普通図柄表示器10は夫々「3」，「5」，「7」の図柄を変動表示する。

【0013】また、センターケース4の両側には、光電スイッチ、リミットスイッチ等により構成される球検知装置（図示せず）を備えた普通図柄表示器10を遊技球の流入により駆動する始動ゲート13，13が設けられ、遊技球の通過により該球検知装置による球検知信号が発生すると、普通図柄表示器10が図柄変動し、その

停止図柄の数字が「7」であると、センターケース4の直下位置に配設した入賞口開閉装置15の開閉翼片対16，16が約5．8秒間開放する。

【0014】この入賞口開閉装置15はその上部を始動口14として、図柄組合わせ表示装置6を駆動して表示器7a，7b，7cを図柄変動表示するものとして設けられているものであり、その開閉翼片対16，16の起立状態で、始動口14からの遊技球の落入のみを有効とする閉鎖位置と、開閉翼片対16，16が逆八形傾動してその側方をも始動口として、内部へ遊技球を案内する開放位置とに電氣的駆動手段を介して変換制御されるものである。

【0015】そして前記入賞口開閉装置15内の玉流路には光電スイッチ、リミットスイッチ等により構成される球検知スイッチが備えられ、該球検知スイッチによる玉通過検知に伴って、図柄組合わせ表示装置6を駆動すると共に、連続的に通過した場合には、待機記録ランプ列11が順次点灯し最高四回まで保留される。またこの作動と共に、遊技球の通過に伴って所定数の景品球が提供される。

【0016】前記入賞口開閉装置15のさらに下方には、幅広の特別入賞口23を備えた入賞装置22が配設されている。この入賞装置22は、蓋体24をソレノイドにより前後方向に開放することにより、該蓋体24の案内作用により、特別入賞口23に遊技球を案内する公知構成からなり、前記特別入賞口23の中央部を特定領域23aとして、後述するように該特定領域23aに遊技球が入ると、連続開放作動を生ずるようにしている。

【0017】次に図柄組合わせ表示装置6の作動につき説明する。前記始動口14又は開放された入賞口開閉装置15の側方から遊技球が流入すると、景品球の供給と共に図柄組合わせ表示装置6が駆動する。尚、連続的に通過した場合には、上述のように待機記録ランプ列11が順次点灯し最高四回まで保留される。

【0018】そして図柄組合わせ表示装置6が駆動すると、図柄表示器7a，7b，7cは図柄変動を開始し、約5秒程度経過すると、図柄表示器7a，7b，7cの順番に図柄変動が図柄停止する。この図柄組合わせ表示装置6の当たり、外れは前記始動口14への入賞に伴って、あらかじめ乱数表を選択することによりその変動を生ずる前に決定されている。

【0019】このとき図柄表示器7aと図柄表示器7bの図柄が一致した場合にはいわゆるリーチ状態となり、図柄表示器7cが図柄を視認可能なように低速変動する。この変動速度を不定変化させて、変化に富んだ変動状態を生じさせても良い。すなわち図柄表示器7a，7b，7cの表示図柄は「1」～「9」までの9個であって、「1」から出発して「9」に至る順序であらかじめ定められている。そこで図柄表示器7cはその順序に従って、所定の停止図柄となるまで変動することとなる。

【0020】この変動制御は、図3で示す中央制御装置CPU等からなる制御指令手段により実行される。ところで、本発明にあっては、上述の一巡表示図柄は9個であり、「1」から出発して「9」に至る循環を数度繰り返すが、この循環周のうちあらかじめ定められた特定循環周に、当たり図柄を増加させるようにしている。例えば、「当」をオールマイティーとし、「1, 1, 1」、「2, 2, 2」等の同一数字のみならず、「1, 当, 1」、「2, 当, 2」等も当たり組み合わせとするなら、偶数循環周では、「1」から出発し、「9」の次にさらに「当」の文字が突然表出するようにする。そして、これにより、遊戯者の目は、出沒する図柄に注がれ、当たり表示の可能性に対する期待を大いに刺激されることとなる。そして、この突如出沒する「当」で、大当たりとなったときには、本来の満足感以上の幸運を味わうことができる。

【0021】この、「当」に代えて、例えば左右の図柄表示器が「5」で揃った場合には、当たり図柄「5」の数字を余分に付加するようにしても良い。また、この当たり図柄である「当」または「5」(例)は、二巡置き、三巡置き等種々のパターンが提案され得る。また当たり図柄の出沒数も種々提案され得る。さらには、中当たりを示す「V」の図柄を出沒させるようにしても良い。

【0022】この「当」の図柄が表出する循環周は、乱数発生装置を用いて不規則なものとすることができる。この乱数発生装置としては、例えば、図3で示す中央制御装置CPU内のリフレッシュカウンタを用いても良い。すなわち、図柄表示器7a, 7bが停止して同一図柄となると、中央制御装置CPU内のリフレッシュカウンタの下位2ビットを抽選することにより、その四値に対応してあらかじめ決定された四種の図柄順序のうちいずれかが選定される。

【0023】この四値と、図柄順序の関係は、例えば、「0」値の場合には「1」から出発して、「9」までのみを一巡とし、「1」値の場合には最後尾に「当」の文字を表出させ、「2」値の場合には、最後尾に「当」の文字を二回連続して表出させ、「3」値の場合には「当」の文字を三回連続して表出させる等の、表示態様を選定する。これにより、遊戯者は、いやがうえにも、期待感を触発されることとなる。尚、この表示態様は単なる一例であって、例えば「0」値の場合にのみ当たり図柄を付加するようにしてもよく、また「当」を非連続に出沒させるようにしても良い。このように、当たり図柄の出沒態様は、その他種々提案され得る。

【0024】この表示態様は、先行して表示される左右の図柄表示器7a, 7bの表示内容により、選定されるようにすることもできる。すなわち、例えば、左右が「7」で揃った場合にのみ、「当」の文字を最後尾に付加するようにする。または、先行して表示される図柄に

対応して、当たり図柄の一巡あたりの出沒数を変化させるようにしても良い。

【0025】ところで、上述したように、この図柄組み合わせ表示装置6の当たり、外れは前記始動口14への入賞に伴って、あらかじめ乱数表を選択することによりその変動を生ずる前に決定されている。このため、前記各表示変動は、当たり確率が増大したかに見えるだけであり、見掛け上、当たり図柄が表出したとしても、実際の確率には変動がない。そこで、この見掛け上の確率上昇を実際の確率と、近似させるために、例えば上述の場合では、「7」でリーチとなった場合には、乱数表を再選択するようにしても良い。この再選択により確率は二倍に上昇する。このように、当たり確率を後発的に向上させる手段は種々提案され得る。

【0026】これらの各制御は図3で示すように中央制御装置CPUにより構成される制御指令手段により実行されることとなる。

【0027】以上は、三個の図柄表示器7a, 7b, 7cを適用したものであるが、図4のように二個の図柄表示器31a, 31bにより構成した図柄組み合わせ表示装置30を適用することもできる。この場合には、例えば、図柄表示器31a, 31bが「7, 7」、「3, 3」のように、特定の組み合わせの場合に、大当たりとする構成にあっては、前記図柄表示器31aが、「7」又は「3」となった場合に、リーチ状態として、図柄表示器31bに当たり図柄を出沒するようにしても良い。

【0028】上述したリーチ状態にあって、音楽をその状態に対応するものに交換するようにしても良い。これは図3に示すように中央制御装置CPUに接続されたスピーカーを制御する音処理装置により実行される。

【0029】そして図柄表示器7cが図柄停止して図柄表示器7a, 7b, 7cが例えば「1, 1, 1」、「2, 2, 2」、「3, 3, 3」、「4, 4, 4」等、数字又はアルファベットからなる図柄が同一となった場合には、「大当たり」となって報知装置がファンファーレを発すると共に、入賞装置22のソレノイドが駆動して、蓋体24が前方に傾動して特別入賞口23が開放し、約10個の遊戯球が入賞するか、所定時間が経過するまで開放を行う。この特別入賞口23にあっては、特定領域23aを通過した時は、連続駆動し、その開放動作終了後に再び特別入賞口23が解放する。この連続作動の回数は、初回開放を含め最高16回までとする。

【0030】

【発明の効果】本発明は、本発明の上記各手段にあっては、リーチ状態で、基本循環図柄とは別に、当たり図柄が、急に増加して出沒することとなる。このため、遊戯者の目は、出沒する図柄に注がれ、当たり表示の可能性に対する期待を大いに刺激されると共に、この突如出沒する図柄で当たりとなったときには、本来の満足感以上の幸運を味わうことができるものであり、意外感と、期待

7

8

感とを醸成され、パチンコ遊戯の興趣を増大し得る等の優れた効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のパチンコ機1の機枠2を示す正面図である。

【図2】本発明の図柄組合わせ表示装置6の正面図である。

【図3】中央制御装置CPUを示すブロック回路図である。

【図4】本発明の図柄組合わせ表示装置30の正面図である。

* 【符号の説明】

1 パチンコ機

6 図柄組合わせ表示装置

7 a, 7 b, 7 c 図柄表示器

14 始動口

15 入賞口開閉装置

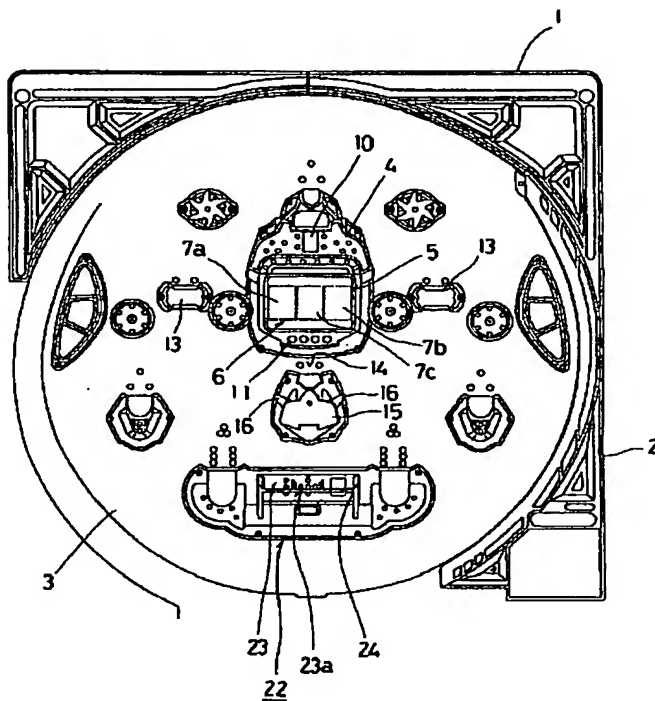
22 入賞装置

23 特別入賞口

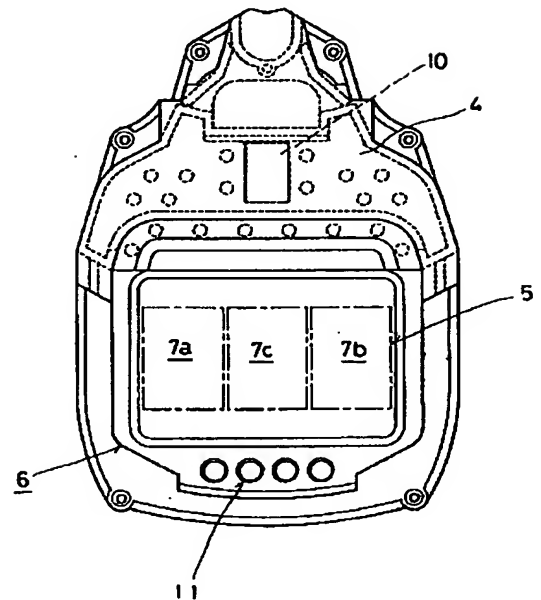
30 図柄組合わせ表示装置

31 a, 31 b 図柄表示器

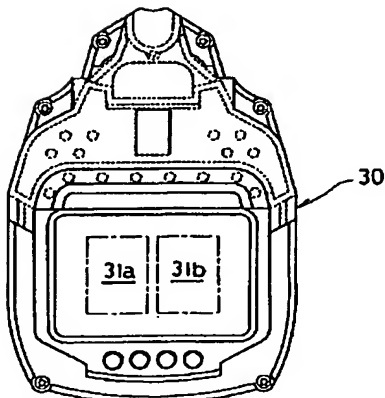
【図1】



【図2】



【図4】



【図3】

